

2007年度 前期	曜日・校時	火1/火4	必修選択	選択	単位数	2
授業科目/(英語名)	日本語 Advanced Japanese					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	留学生		科目分類	留学生用科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 嶋津 拓 / Eメールアドレス: shimazu@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 留学生センター /オフィスアワー: 火曜日2・3校時						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 日本の大学学部で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(とくに読解能力)を習得する。 授業方法: 日本語で書かれた、様々な種類の文章(新聞、雑誌、概説書、学术论文、一次資料など)を読む。 授業到達目標: 上級レベルの語彙・文字を習得するとともに、論理の構成や展開パターンを把握する能力、速読する能力、大意を理解する能力を獲得する。						
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 毎回、予習してあることを前提に、授業では、(1)本文の音読、(2)文型・語彙・表現の確認、(3)段落ごとの内容確認、(4)段落と段落の関係確認、(5)テキストの内容に関するディスカッション等を行う。 各回2コマ 第1回 授業概要説明/新聞記事(日本経済新聞)を読む(1) 第2回 新聞記事(日本経済新聞)を読む(2) 第3回 雑誌を読む(1) 第4回 雑誌を読む(2) 第5回 専門概説書を読む(1) 第6回 専門概説書を読む(2) 第7回 調査レポートを読む(1) 第8回 調査レポートを読む(2) 第9回 白書を読む 第10回 評論を読む(1) 第11回 評論を読む(2) 第12回 対談・鼎談を読む 第13回 学术论文を読む(1) 第14回 学术论文を読む(2) 第15回 まとめ/授業評価 開講後、受講者の関心・専攻によってはテキストを変更する場合もある。						
キーワード	上級レベルの日本語読解能力の獲得					
教科書・教材・参考書	プリント教材(担当教員が用意する。)					
成績評価の方法・基準等	評価は、授業参加の積極性30%、授業中のリスポンス内容30%、課題(作文)40%によって行う。					
受講要件(履修条件)	日本語能力試験1級合格相当または日本留学試験(日本語科目)200点得点相当の日本語能力を有する留学生。					
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本の大学学部で学習・研究するのに必要な日本語能力(とくに読解能力)の習得。					
備考(準備学習等)	毎回、必ず予習をしてくること。 1校時目と4校時目の両方とも出席すること。片方だけの出席は認めない。					